

滝 呂

たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども
 ～考えつくりだす子 はげましあう子 きたえる子～
 4 本柱「まんぞく授業」「さきがけあいさつ」
 「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」

<http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro>
 2025. 4. 16 第1号

滝呂の丘に春來たる

校長 鈴木 雄詞

校庭に吹く風が暖かくなってきました。草木もつられて薄い黄緑色の新芽が、遠慮がちに伸び始めています。春真っ盛りの滝呂小学校です。今年度は、70名の新1年生を迎え、全校児童数425名で新たにスタートしました。

「子どもがど真ん中」を合言葉として、学校・家庭・地域が連携し、協力し合って、滝呂の子どもたちの健やかな育ちを支えていきます。

「人を想い、人のために生きる」それが大人になるということだと私は思います。小・中学校義務教育9年間で、それを自覚できる子に育てほしいと願い、教育活動を推進してまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

先日、始業式と入学式を行いました。そこで私が感じたことをお話しします。

始業式（4月7日）

始業式に先立ち、転入職員の着任式を行いました。転入者が多いことから、昨年度からいる全職員で準備をしました。各学級から体育館に子供たちを引率して並ばせる。これだけでも大変な作業です。それを黙々とこなしていく職員に感謝と頼もしさを感じました。

いよいよ、子供たちとの対面です。体育館のドアが開き、私たち転入職員は子供たちの間の花道を通してステージに上がりました。かわいらしい目が、興味津々でこちらを見つめていました。

「一人一人を大事にしていこう。」

そう思えた瞬間でした。引き続き行われた始業式で、私は子供たちに次の三つのお願いをしました。

ひとつ、自分の命を大事にできる子になってください。
 ふたつ、人の気持ちがわかる子になってください。
 みっつ、誰かのために行動できる子になってください。

最後に、「さあ、いこう！」とみんなで声を合わせ、気合を入れてスタートしました。

入学式（4月8日）

うららかな春の日差しに包まれました。桜も満開で出迎えてくれました。

ピカピカの1年生たちは、どこか誇らしげです。子供たちには「みっつの“ぞう”」になってね」と話しました。

ひとつ、元気にあいさつや返事をする“ぞう”
 ふたつ、友だちにやさしくする“ぞう”
 みっつ、学校を好きになる“ぞう”

先生も、子供たちも全員揃いました。みんなでみんなの滝呂小学校を創っていきます。保護者の皆様、地域の皆様とともに頑張ります。